

Toshidai Todoroki News letter

東京都市大学 等々力中学校・高等学校

TOKYO CITY UNIVERSITY TODOROKI JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

CONTENTS

- 「共生」・「英知」・「高潔」 1
- 平成27年度 入試結果 2
- 平成26年度卒業生 大学合格実績 3
- 生徒会(総務委員/文化祭執行部) 4
- 委員会活動紹介(図書委員会) 5
- ノブレス・オブリージュの旅 5
- Event Topics
- ・イギリス・ラグビー校語学研修旅行(高2) 6
- ・オリエンテーション合宿(中1) 6
- ・ステージ・アップ合宿(中3) 6
- ・体育祭(高校) 7
- ・スポーツ大会(中学) 7
- スケジュール/説明会日程/編集後記 8



『共生』・『英知』・『高潔』

例えば自分のすぐ隣で苦しむ人がいたら、私たちはきくと迷わずに手を差し伸べる事ができるでしょう。『共生』とは、少なくともそういう感性を心の深い部分に持つところから始まるはずなんです。

しかし、例えば世界の遥か遠くで苦しんでいる人に対してはどうでしょうか。私たちはそういう人々の存在に気づきもしないか、薄々気づきながら関心を払わないでいるか、たとえ関心を払ったとしても、手を差し伸べる手段を考えあぐねて終わるだけかもしれません。

もちろん、「ここ」で言う「遠さ」は、必ずしも実際の距離だけとは限りません。文化や宗教や価値観や性別など、実に多くの事柄が人々の間に目に見えない距離を形成することがあります。そういう遠くの人々とも苦しみ分かち合うためには、それ相応の知識や知恵、そして理解力が必要なんです。『英知』が必要となる所以です。

ところが、知識や知恵、理解力を持つだけでは、本当の問題解決にはあと一歩及びません。それは「知ること」と「行動すること」の間にある深く大きな溝の前で立ちすくんでいる状態だと言えます。その溝を勇気と献身の精神で跳び越え、信念に従って行動しようとする人こそを、私は『高潔』な人と呼びたいと思います。私たちはそういう若者を一人でも多く輩出したいと心から願っています。

教育設計部部長 樋口久仁

受験生の皆さんへ

学校説明会日程

- ★予約制(1か月前より本校ホームページにて予約を受け付けています。)
- ★各回の定員および内容については本校ホームページでご確認ください。

中学校説明会

第1回	6月 27日 土	14:30~ 15:00~
第2回	8月 1日 土	10:30~ 帰国生入試説明会は10:00~
第3回	9月 19日 土	14:30~ 15:00~
第4回	10月 17日 土	14:30~ 15:00~
第5回	11月 1日 日	10:00~ 10:30~
第6回	11月 21日 土	14:30~ 15:00~
第7回	12月 20日 日	14:30~ 15:00~
第8回	1月 11日 祝	10:00~ 10:30~

オープンスクール 8月 30日 日 10:00~ (要予約)

高等学校説明会

第1回	9月 19日 土	10:00~
第2回	10月 17日 土	10:00~
第3回	11月 21日 土	10:00~
第4回	12月 20日 日	10:00~

サテライト・イブニング説明会日程

日 時	場 所
10月 13日 火 19:00 ~ 20:00	品川区総合区民会館「きゅりあん」(1F 小ホール)
10月 16日 金 19:00 ~ 20:00	ららぽーと豊洲 (3F ユナイテッド・シネマ)
10月 22日 木 19:00 ~ 20:00	プレミア横浜[センター北] (7F プレミアホール)
10月 23日 金 19:00 ~ 20:00	たまプラーザテラス (2F プラザホール)

※全て予約制となります。予約方法などの詳細は、本校ホームページをご覧ください。

今後のスケジュール

- 7月6日(月)~9日(木)
 - 期末考査期間
- 7月10日(金)
 - 総合学力テスト(高2)
- 7月11日(土)
 - 答案返却/夢ナビライブ(高1)/歌舞伎教室(中2)
- 7月13日(月)
 - 総合学力テスト(高1)/オペラ鑑賞教室(高2)
- 7月18日(土)
 - 終業式
- 7月21日(火)~27日(月)
 - 受験対策講座(高3)
- 7月22日(水)~27日(月)
 - 夏季合宿進学講座(高1・2)
- 7月28日(火)
 - 上級救命講習(女子部高3)
- 7月28日(火)~30日(木)
 - サバイバルキャンプ(中1)
- 7月30日(木)~8月14日(金)
 - 豪州短期留学(中3~高2)
- 8月24日(月)~29日(土)
 - 夏季登校進学講座(全学年)
- 9月1日(火)
 - 始業式
- 9月9日(水)~11日(金)
 - 授業参観
- 9月11日(金)~17日(木)
 - オックスフォード語学研修(高2高入生)
- 9月25日(金)
 - 避難訓練
- 10月3日(土)・4日(日)
 - 藍桐祭
- 10月8日(木)
 - 音楽鑑賞教室(高1)

都市大等々力ニュースレター
Toshidai Todoroki News letter
vol.10 2015 Jun.
編集発行：東京都市大学等々力中学校・高等学校
発行日：平成27年6月26日
〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-10-1
TEL.03-5962-0104 FAX.03-3701-2197
<http://www.tcu-todoroki.ed.jp>

私は学校行事が大好きです。等々力中高では、心を豊かにする・身体を鍛える・知識を深める、様々な行事があり、それを生徒たちが中心となって運営をしています。体育祭で全力を出し切る生徒の姿、表情、行事成功の為に何か月も前から必死になって準備をする実行委員の姿や行事後の達成感に満ち溢れた表情。学校行事は生徒たちだけではなく、私たち教員にとってもかけがえないものです。(石田千紘)

これまでたくさんの方々の生徒たちの声や笑顔を届けてきたTTNも、今回で10号となりました。より一層、等々力らしさを伝えていこうと今回から一部紙面をリニューアル。特に、「日本」自治活動の盛んな学校を目指し日々奔走している生徒会の皆さんが活躍の場には、おおいに期待できそうです。次号も、ぜひお楽しみに！(落合真佐美)

編集後記

平成27年度 入試結果

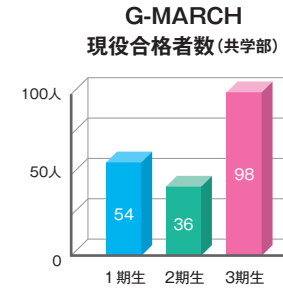
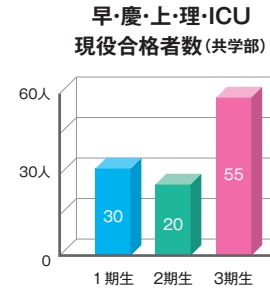
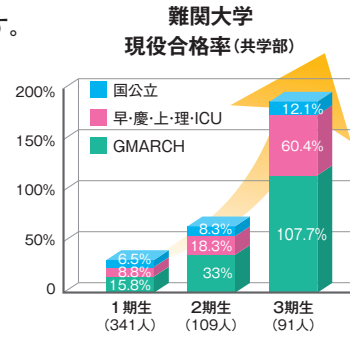
平成26年度 卒業生
合格おめでとう!!

大学合格実績

今春、女子部69名と共学部の三期生91名が卒業。その合格者数は早慶上智レベルが56名、GMARCHは100名に達しました。国公立大学では東京外語大・国際教養大などに初の合格者を輩出。医学部（一般入試）にも初めて2名が合格を果たしています。

この進路実績の背景には、授業を基本としながら、さまざまな進学講座などの進路支援策があることはもちろんですが、共学部発足以来、本校が一貫して進めてきた、時間管理(TQ)能力と自学自習に付けた結果だと考えています。そして、そうした力を身に付けさせるため、本校教員はTQノートや模試、定期考査の「解き直しノート」にコメントを付して返却するなど、適切なコーチングマインドを持って生徒一人ひとりと向き合い、生徒たちのやる気がクラスや学年全体に波及していった結果であると考えています。

	平成27年	平成26年	平成25年
国公立大学			
北海道大学	1 (1)		
東京工業大学			1
東京学芸大学		1 (1)	1
東京外国語大学	2 (1)		
筑波大学			1
埼玉大学	2	1	
首都大学東京	2	6 (2)	2
横浜市立大学	2	2 (1)	4
東京海洋大学			3
電気通信大学		2 (1)	
北見工業大学		1 (1)	
山形大学	1		
岩手大学			1
国際教養大学	1		
茨城大学		1	1
信州大学	1		
都留文科大学	1		
富山大学			1
佐賀大学	1 (1)		
その他の国公立大学			7
防衛大学校		1	
小計	14 (3)	15 (6)	22



	平成27年	平成26年	平成25年
早慶上理ICU			
早稲田大学	19 (1)	5 (1)	8
慶應義塾大学	7 (1)	1 (1)	2
上智大学	15	9 (1)	9
東京理科大学	17 (1)	13 (3)	12
国際基督教大学	1	1	
小計	59 (3)	29 (6)	31

	平成27年	平成26年	平成25年
G-MARCH			
明治大学	19 (3)	11 (8)	12
青山学院大学	12 (1)	9 (3)	13
立教大学	12	10 (4)	7
中央大学	27 (2)	11 (5)	10
法政大学	33 (3)	12 (3)	11
学習院大学	6	7 (1)	1
小計	109 (9)	60 (24)	54

	平成27年	平成26年	平成25年
医学・薬学系			
帝京大学(医学部)	1		
埼玉医科大(医学部)	1		
昭和薬科大学	1		
帝京大学(薬学部)	1		
星薬科大学		1 (1)	1
東京薬科大学			3
昭和大学(薬学部)		2	
横浜薬科大学		1 (1)	
その他の薬学部			1
小計	4	4 (2)	5

付属推薦制度			
東京都市大学	37	33	202

※AO-指定校/公募推薦の合格者を含む
※()の数は既卒生実績 ※女子部も含む

首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の私立中学校受験率は、教育機関によって若干異なるものの、推定14.38%(43,200名)であった。ここ数年は1都3県の小学校の就学人口を見ると、1学年約30万人で推移してきたが、今年度の小学校6年生は約300,391人(前年比98.9%)と推測され、2015年度以降の人口の推移を見てみると、300,391人(2015年/前年比98.9%)⇒296,284人(2016年/前年比97.6%)⇒290,604(2017年/前年比96.7%)と減少傾向にある。

高校においては、公立中学校との事前の入試相談による内定者数を昨年度より増やしたものの、東京都立高校・神奈川県立高校の上位校との併願が圧倒的に多い中で、その年の競合校の定員増・クラス増・倍率などに左右されるケースが多く、歩留まりを読むことは大変難しい状況であった。

中学校

2015年度中学入試では、定員を200名5クラスに増やし、S特選コースを新設し、従来の特選・特進を同一問題の一括入試とした。入試の回数(S特選2回、特選/特進4回、帰国2回)に変更はない。

昨年度(2014年度)が志願者総数2,567名・実受験者数1,072名に対し、今年度(2015年度)は志願者総数2,123名・実受験者数912名、最終入学者201名という結果となった。首都圏の私立中学校受験者数の減少と他校の出願状況並びに新たなる競合校の出現等を鑑みると、私学全体が厳しい状況の中で、本校は前年比82%で留まったが、2015年度出願数ランキングでは首都圏第8位(前年度6位)であり、大いに検討したと言える。

一方で、共学部新設から6年目、都市大等々力改革第2ステージが開始し、ますます改革が進んでいいるが、中学からの一貫生(平成22年度生)が現在高校3年生となり、これから大学受験を迎える状況である。周囲の受験生やその保護者の期待値を継続させ、更に高みを目指すために今年度は新たにS特選コース(定員40名)を新設した。その結果、志願者734名(実受験者375名)と高い学力層の受験生が受験をし、高い評価を得た。

更に、昨年度から新設した帰国生入試も2年目を迎え、今年度は世界26ヶ国に在留または在留経験のある志願者55名(昨年度41名)、入学者21名(昨年度13名)と年々認知度も上がり、順調に受験生は増えている。

今後続く首都圏の厳しい中学入試状況の中で、昨年度の高校の卒業生(共学部・女子部)の大学合格実績が国公立11名、早慶上理56名、GMARCH100名と急上昇したことから、来年度に向けて大いに期待値が上がり、さらに弾みがついた。

平成27年度 東京都市大学等々力中学校 入試結果

コース	定員	男女	志願者	受験者	合格者	入学者
S特選	40	男子	494	244	124	20
		女子	240	131	80	22
特別選抜 特別進学	140	男子	888	327	190	89
		女子	446	156	104	49
男子合計	—	男子	1,382	571	314	109
女子合計	—	女子	686	287	184	71
男女合計(総計)	180	男女	2,068	858	498	180
帰国生	20	男子	38	38	35	18
		女子	17	16	16	3
男女合計(総計)	20	男女	55	54	51	21

高等学校

2015年度高校入試では、定員を40名1クラスとし、推薦(単願)を廃止した。定員を縮小し、1クラス募集に踏み切ったが、その影響がどう出るか懸念された。結果、昨年度は募集定員70名、志願者203名、最終入学者59名であったのに対し、今年度は募集定員40名、志願者160名、最終入学者35名であった。

昨年度行われた神奈川県の入試制度改革によりB推薦(併願推薦)制度が廃止され、私立高校併願者がすべて東京と同様2月の一般入試を受験しなければならなくなり、昨年度の受験生は安全志向となり、定員数の多い併願校を選んだり、内申基準のランクを下げて確実に合格する併願校を受験したりした。今年度(2015年度)はその大きな影響は見られないものの、今年度の受験生の併願校調査の結果を見ると、第1位 市立横浜サイエンスフロンティア・第2位 都立多摩・第3位 国立東京学芸大学付属・第4位 県立川和・第5位 都立青山・第6位 都立小山台・第7位 国立東工大附属科学技術・第8位 県立横浜翠嵐と、やはり名だたる上位校であり、各高校の定員増やクラス増、受験倍率に大きく影響され、歩留まりも読めない状況であった。

平成27年度 東京都市大学等々力高等学校 入試結果

コース	定員	男女	志願者	受験者	合格者	入学者
特別選抜	40	男子	98	92	91	22
		女子	62	60	59	13
合計	40	—	160	152	150	35

卒業生 Message

高3の夏まで硬式野球部を続けたこと。この自信と達成感で、気持ちを部活動から完全に大学受験へと切り替えることができました。そして、部の仲間たちと励まし合い、支え合うことで、受験という壁を乗り越えられたのだと思います。他の多くの部員も難関大学に合格を果たしました。今、僕は都市大等々力で中学野球部のコーチを務めています。「一人ではできないことも仲間がいれば必ずできる」ことを後輩たちに伝えながら、公認会計士という新たな目標に向けて勉強に打ち込んでいます。

慶應義塾大学 商学部 **宮本 崇仁**さん



農学部に進みたいと思ったのは、この学校で生物が好きになったからです。部活動を続けながら、合格という目標を達成するため、朝7時に学校に来て勉強をしました。受験勉強中の私に自信を与えてくれたのが、TQノートです。自分がどれだけ勉強に時間を費やしたか目に見えて分かったからです。受講した講座もすべて役立ち、塾や予備校に通わずに第一志望の大学に進学できました。先生方はもちろん、部の後輩たちにも感謝しています。部を引退した後、心が折れそうな時、後輩の元気な挨拶に何度も助けられました。

信州大学 農学部 **田中 瑛美**さん



読書コンペティション — 優秀者による発表 —

図書委員会では、読書活動の促進・啓蒙のポスターを作ったり、SICショットの作成を行ったりしています。昨年度中学では、読書量を競う「クラス対抗読書戦」を実施しました。高校生は朝日新聞主催「どくしょ甲子園」へ参加して、仲間と意見を交換し読書ボード・レポートを作成しました。読書の奥深さに触れています。また、クラスの読書ノートのチェック・読書コンペティション開催も大切な仕事です。今回は4月に行われた「読書コンペティション決戦大会」についてご紹介いたします。

4月13日新入生歓迎の意を込めて「読書コンペティション決戦大会」が行われ、昨年3学期に各クラス予選を勝ち抜いた23名の生徒が新入生の前で発表を行いました。芥川龍之介著『蜜柑』（中3生徒の発表）・養老猛司著『バカの壁』（高2生徒の発表）などが紹介されました。発表者は文章を工夫し、抑揚を付けたり身振り手振りを交えたり、それぞれが聴衆を引きつける工夫を凝らしていました。どの発表者も堂々とした話しぶり、年々レベルが上がってきていると感じました。

本校では読書活動推進の一環として「読書ノート」を作成しており、生徒は年間の読書活動の記録を残しています。国語科や社会科からの課題図書はもちろん、生徒たちは多くの本を読んでいます。3学期には、これまで自分の読んだ本の中から「お薦めの本」を1冊選び、クラス内で発表する「読書コンペティション予選」を実施します。全生徒が必ず1度は人前で発表する機会を作ることで、プレゼン能力の向上も目指しています。



会場の様子



発表の様子



今年度の読書ノート

委員会活動紹介 図書委員会

発表を聞いた 生徒の感想

蜜柑

芥川 龍之介 著

- 男の心情の変化を読み取れる作品。発表者の話し方が上手だった。
- 自分を見つめ直せると聞き、読んでみたいと思った。

バカの壁

養老 猛司 著

- 具体例が多く、「バカの壁」の意味がよく分かった。
- 私も壁を作らず、興味の無いことに興味を持っていくと思った。

インシエーション・ラブ

乾 くるみ 著

- ラスト2行で大どんでん返しがあり、必ず2回読みたくなると聞いて、読んでみたいと思った。
- 1冊で2度楽しめるって聞いて、興味が沸いた。

都 市 大 生 徒 会 等 々 力

オープンスペースに設置された「生徒会室」。見た目も活動方針も、「開かれた生徒会」を目指しています。その生徒会がTTNの1ページを担当することになりました。記念すべき初回は、生徒会長が熱い思いを語ります。

総務委員より

皆さんこんにちは。高校生徒会長を務めさせていただいています、高校2年5組三瓶巧です。まず、今年度の総務委員をご紹介します。

高 校		
会 長	2年5組	三 瓶 巧
副会長	2年1組	小 宮 遥
	1年1組	鈴 木 玲 雄
会 計	2年3組	永 島 裕 貴
	1年2組	荻 原 佑 輔
書 記	2年3組	江 口 智 之
	1年2組	高 須 賀 勇 斗

中 学		
会 長	3年1組	小 宮 紹 滉
副会長	3年3組	谷 川 颯 太
	2年4組	延 島 佳 一
会 計	3年4組	吉 開 優 姫
	2年1組	中 西 さ くら
書 記	3年4組	網 廣 海
	2年2組	古 賀 博 樹

以上のメンバーで現在活動しています。

今年度の生徒会のテーマは「自主性」です。昨年度より準備してきた、生徒会の大改革も秒読みとなり、生徒の自主的な生徒会活動を全力で盛り立てていきます!!

改革の内容としましては、生徒会規約の大幅な変更が挙げられます。生徒による日常的な議決機関である中央委員会会議の設置、先生方と総務委員会による合同会議の設置、部活動創部の手順の明確化など、様々な改革によって生徒の意見をより学校生活に反映できる生徒会にしてまいります。

全国で生徒の自治活動が最も盛んな学校にできると確信しています。ぜひご期待ください。また運営で



も、総務委員一同全力で取り組んでまいりますので、これからも、生徒会活動にご理解とご協力をお願いいたします。

文化祭執行部より

都市大等々力に藍桐祭執行部が発足しました!

藍桐祭執行部は、藍桐祭実行委員会とは別の組織で、より計画的に細部まで力を入れ、藍桐祭を円滑に準備、運営するために発足しました。メンバーは昨年度の藍桐祭実行委員の中から、やる気と責任感のある11名が自ら参加しています。今年度の藍桐祭のサステーマ「Discover Japan」「生徒主体の藍桐祭運営」をモットーとしており、まず、生徒の自主性を重んじることで、よりモチベーションが上がることを期待しています。

今までの藍桐祭とは一味も二味も違います。是非お越しください。



文化祭執行部メンバー「やる気と責任感なら、だれにも負けません!」

お知らせ! 次回からこのページは「生徒会」が担当します。等々力の真の姿を様々な角度から生徒目線でお伝えする予定です。乞う、ご期待!

ることなく、ただひたすらに。そうしているうちに彼は以前のよう自分の愚かさを嘆いたりすることもなく、人に対して寛容になつていくことに気づき、そしてある日ある時、ついに一つの大きな発見をします。悟りの瞬間を迎えたのです。その後、彼は多くの人々から尊敬され、「大阿羅漢」にまでなつたのです。

チューラパンタカは清掃を通して心の存在を発見したのです。さらに彼は、その心は知らない間に塵芥が積もり重なる、心を取り出して洗うことができなない代わりに、愚直に掃除をすることで心を磨くのだ、こうした道理を理解したのでした。

少し前に知人の勧めで鍵山秀三郎氏の『掃除道』という本を読みました。鍵山氏は日本で著名な自動車用品の販売店を創業し

ミヨウガという植物を知っていますか。この季節にはスーパードライなどよく見かけます。薬味にしたり甘酢に漬けて食べたりもします。また、ミヨウガは「茗荷」と表記されたり、ミヨウガを食べると物忘れが激しくなるなどという俗信もあります。そのくらい生活に密着した植物ということなのでしょう。

さて、ミヨウガにはこんなお話も昔から伝わっています。

お釈迦様の弟子にチューラパンタカという人がいました。この人は物覚えがすこぶる悪

noblesse oblige
—高貴な人が果たすべき責任と義務—

連 載

ノブレス・オブリージュの旅

<10>

校長
原田 豊

く、自分の名前さえ忘れてしまい、名前を書いた札を背負っていないならばならないほどでした。そんな自分だから到底修行なんて無理だ、お釈迦様の弟子などになれるわけがないと落胆していたところ、お釈迦様はやさしい眼差しとともに彼に語り掛けました。「修行ができないなんてあり得ない。毎日毎日『塵を払おう、垢よおちろ』と唱えながら一心に清掃に努めたらいい」と。それ以後、とにかくひたすら彼は清掃に励みました。来る日も来る日も、飽きたりさぼったり怠けたりす

た人としても有名な方です。鍵山氏は特にトイレ清掃には精神の浄化作用があると言います。謙虚さ、思いやり、感動や感謝の気持ち、そういうものが自然と身に付くものだと言っています。そして、彼の実践は今、全国的な運動にまで広がっています。「大切なことは決して特別なことをすることではない、誰にでもできるが誰もできていないことを徹底して続けることだ。」実践家の言葉の重みをひしひしと感じずにはいられません。教室、廊下、トイレ、ラウンジ、校舎周辺等、毎日の清掃にはこれほど大切な意味があります。これこそノブレス・オブリージュの実践です。

そういえば、チューラパンタカのお墓の脇には、可憐な白いミヨウガ(茗荷)の花が咲いていたとかいう話です。

体育祭 高校

5月28日に本校校庭で高校体育祭が行われました。今年のテーマは「BEYOND 限界のその先へ」。自分の限界を突き破りさらなる高みを目指すという意味が込められています。生徒たちは、またひとつ成長した姿を見せてくれました。



■体育祭が終わった後、たくさんの生徒から「楽しかった!」という声を聞くことができ、喜びと共に準備や当日の運営に協力して下さった実行委員、係のみんな、先生方への感謝の気持ちが湧いてきました。今年度の体育祭を言葉で表すなら「感謝」、この一言に尽きます。素晴らしい体育祭を行えました。有難うございました。[体育祭実行委員長]

■最初はなかなかまとまらず、他の組からの嘲笑もありましたが、縦の繋がりを重視し、声をかけあって何度も練習をしました。そして青組は驚異の爆発力を見せつけ、応援優勝を獲得! 青組全体が「ありのまま」の姿を出せたからだと思います。学年を越えて団結することに喜びを感じました。[青組応援団長]

■体育祭は私の青春のものです。3年間実行委員として関わり、今年はその集大成として力を出し切ることができました。この3年間、うまくいなくて叱られて辞めたいと思ったことが何度もありましたが、続けてきて本当に良かったです。体育祭を通して色々な人とも関わりましたし、今までずっと共に頑張ってきた実行委員に感謝の気持ちでいっぱいです。人生の中でも最高の思い出の一つになりました。[女子部実行委員]



スポーツ大会 中学

6月11日に駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて中学スポーツ大会が行われました。クラスごとに赤・青・黄・緑の各色に分かれ、学年を越えてチームを結成。下級生が上級生に倣い、上級生がリーダーシップで下級生を引っ張っていく。そんな姿が随所にみられ、スポーツ大会のテーマである「絆」を体現していました。また、クラス全員で跳ぶ「大縄」ではこれまでの記録を更新し、歓喜の涙を流す姿も見受けられました。



■今年は中学最後のスポーツ大会だったのでクラス全体が「勝ちに行こう!」という雰囲気でした。序盤は下位スタートで、なかなか練習の成果を出すことができず落ち込んだ空気になり、このまま終わってしまうのかな、と不安に思っていました。でも、後半になっていくにつれて、声援も大きくなっていき、一生懸命練習した大縄も学年で一番の記録を出して逆転することができました。クラスで最高の思い出を作ることができました。[中3 実行委員]

■「絶対1位になりたい」と思っていたので、悔いは残っています。でもクラスが変わって初めての行事で色々不安があった中、スポーツ大会が近づくにつれてクラスが一丸となって本番では練習の成果を出すことができたので、良かったです。朝練やクラスでの練習も、文句を言わずについて来てくれたクラスのみんなを誇りに思います。ありがとうございました! [中3 実行委員]

■今回のスポーツ大会は少し悔いが残ってしまった。なぜならあと5点で総合優勝だったからだ。しかし、練習ではうまくいかなかった種目で良い成績を残せ、クラスのやる気も徐々に高まっていったのが感じられたので良かった。今後の行事では悔いが残らないように始めから全力で頑張りたい。[中3 実行委員]

■3年4組は午前是最下位だったが、午後には追いついて学年優勝を勝ち取ることができた。大縄では1位をとることはできなかったが、クラスの力を出し切り、ベストを尽くせたと思う。また、実行委員長として、他の実行委員と協力ができ、運営の面でもベストが尽くせたと思う。またこういった係に挑戦したい。[中3 実行委員長]



イギリス・ラグビー校語学研修旅行 高二(一)年生

4月1日~7日までイギリス・ラグビー校での語学研修旅行に行ってきました。英国の文化、伝統や歴史を学びました。

■ネイティブの先生方との交流がとても良い経験になった。話そうとすることで壁を作らず思いきってコミュニケーションができた。円卓のテーブルでの食事も楽しく、クラスの仲間との思い出ができた。[1組女子]

■印象に残ったのはハウスでの生活です。実際の寮生活を体験することができ、とても楽しく多くのことを学ぶことができました。[2組女子]

■飛行機の中で、ちょうどロシアの上空に差しかけた時に外を見ると、見たこともない大地が広がっていて自然のすごさに驚いた。[3組男子]

■大英博物館でロゼッタストーン、古代エジプトのヒエログリフや石像を見たことが印象に残った。想像以上に不思議なものだった。[4組男子]

■ロンドンが思い深い。理由としては日本とは全く違ったイメージであったから。例としては道路だ。歴史を感じるというか、美しさを感じた。[4組男子]



オリエンテーション合宿 中1

4月8日から3日間、山梨県の西湖にてオリエンテーション合宿を実施。noblesse obligeの精神や学校生活について学びました。

■ガイダンスがたくさんあって、塾の講習とはまったく違うつらさだったけれど、ノブレス・オブリージュの精神や、等々力生としてしなければならないことをたくさん学んだ。特に、この合宿で学んだ「返事・あいさつ・後始末」は、これからの学校生活でも、また家庭の中でも活かしていきたいと思う。クラスのみならず友達になれて、学校に行くのが楽しみになった。



■オリエンテーション合宿に参加する前は、とても不安でした。友達ができるのだろうか、話す相手はあるのだろうか、とても不安な気持ちで向かいました。けれど、合宿中に友達がたくさんできて、日が経つにつれてとても楽しくなってきました。等々力の生徒全員が心優しく感じ、これからの6年間を安心して過ごせると、オリエンテーション合宿に参加して確信しました。ガイダンスに参加したり、友人たちを見たりして、僕はこの学校で本当に良かったと感じました。6年間の日々を、この学校で楽しく、頑張っていきたいと思います。



■オリエンテーション合宿に参加することで、「都市大等々力の生徒」に近づけたと思います。「noblesse oblige」の意味や勉強とは何かを学びました。友達と仲良く、でもけじめはしっかりつけるという学びもできました。「返事・あいさつ・後始末」ということは、中学校だけでなく、高校生になっても大学生になっても、社会人になってもとても必要なことだと思います。これから私は、この三つの事を私の「決まり」として守っていきます。合宿は、とても大事な一歩になりました。

■今回、このオリエンテーション合宿に参加して、ルール、マナーのことや教科について学びました。特に印象に残ったのは、プラス1の清水先生がおっしゃった「問題は勉強ではない」という言葉です。僕は今までずっと、勉強が一番の問題であるという意識を持っていました。これからはそんな自分を変えてゆきたいと思えます。友達がたくさんできたのも、印象深いことです。これから6年間を、「高潔な若人」として過ごし、「責任と義務」を果たしていこうと思いました。

ステージ・アップ合宿 中3

4月8日から3泊4日の日程でステージアップ合宿が行われました。セカンドステージのテーマは「英知」。生徒はこの合宿で「学ぶこと」の意義を考えていきました。

■この4日間の合宿、今まで経験したことのないスケジュールで勉強することができた。1人ではきっとできなかったと思う。3時間休むことなく問題を解き続ける「Study Max」について、初めて聞いた時は自分は耐えられるかどうか不安ではあった。しかし自分なりにではあるが、今までにないくらい努力することができた。班ごとの学び合いでは、チームの足を引っ張ってしまうこともあったが、自分の中で課題を発見することができ、「チームメイトに追いつきたい、追い越すつもりでやっていきたい」と感じた。今回見つけた課題を克服し、この4日間は有意義なものになったと再び思えるようにしたいと思う。

■最初は3泊4日…長いなと思っていたし、ずっと勉強とか嫌だなと思っていたが、合宿に行ってみたら、あっという間でStudy Maxも全然辛くなかった。むしろ、家で勉強や普段の学校の授業よりも楽しかった。もう2泊ぐらいしてもいいなと思ったくらいだ。その理由はきっと1人で勉強していたのではなく、友達と勉強していたからだと思う。学び合いの授業で友達に教えてもらうことで、1人ではわからないことも理解することができたし、友達とゲーム感覚で勉強することができたので楽しかった。また、共に生活することで、みんな勉強しているから私も頑張らなきゃと思うこともでき、部屋に戻ってから友達と勉強をして、わからないところを教えてもらった。有意義な時間を過ごすことができた合宿であった。

■今回のステージアップ合宿は、私が今まで参加した合宿の中で一番過酷でしたが、一番学ぶことが多い合宿だったと思います。Study Maxでは最初、今まで3時間おとして勉強したことのない自分ができるのか、とても不安でした。でも、やってみると、途中苦しいところもありましたが、3時間やり切れた達成感を味わうことができ、嬉しかったです。集中して勉強することが「できなかった」のではなく「やらなかった」だけだということがわかりました。きっと本気を出せば何だってできるんだという前向きな気持ちになりました。この経験を活かして、自主的に勉強できるよう頑張りたいです。

